

間伐材キャンペーン 参加報告



2005.3~7

平成17年3月13日奥多摩の山林で丸太を運びだしました



丸太の運び出し作業の様子



東京都間伐材キャンペーンに参加しました

丸太運び出し&作品づくりチャレンジ
『都は多摩産木材の利用促進の一環として、間伐材の用途拡大を図るため、間伐材キャンペーンを実施しています。今回はその第4回目の企画として、間伐材丸太を山から運び出す作業体験とそれを活用した作品づくりを行うグループを募集します』

平成17年1月27日産業労働局

というお誘いを受けて平成17年度の東京都間伐材キャンペーンに参加することになりました。

前日、愛知万博市民パビリオンの展示設営があり、少々強行軍だったのですが、好天に恵まれ(暑いくらい)、黄色い花粉渦巻く東京都西多摩郡日ノ出町大久野長井地内山林に間伐材を頂きに行きました。

すでに丸太は数日前に切り倒されて、森林の中で葉枯らしをしてある状態です。

とはいえ、慣れない山の斜面で手頃な丸太を選び、番号札をつけ、それを足場の良いところまで担ぎ出して、さらに乗用車に積めるサイズに切断するという作業は容易なことでは



樹種の説明を受ける参加メンバー

はありません。おぼつかない足取りでえっちらおっちらと丸太を担いで、引きずってのメンバーを見かねた担当職員の方々にめいっばいお手伝い頂いて、なんとか積み込みを終えることができました。

帰りに東京の水源地の滝を見学して、近くの公営日帰り入浴施設に行くと、現地でご一緒した職員や参加者の方々ものんびりと汗を流していました。



作業前のレクチャー

丸太を探して斜面をうろうろ切り出したお気に入りの丸太に番号札をつける使える分量の丸太を運び出す



グリーン・クリエイターズネットワーク

GREEN CREATORS NETWORK は、2001年アースデイ東京を機に、環境・自然保護運動を支援し、また自らも活動してゆく事を主旨として立ち上げられた、アーティストと環境・自然保護活動団体のNGOです。自らのスキルを環境・自然保護活動に役立てたい

クリエイターと、活動中にアート・デザインを取り入れたいNPO・NGOとの出会いの場を提供するとともに、グリーンリバー・アートをはじめとしたアート・イベント、参加型ワークショップを通して一般来場者に環境・自然保護活動に興味を持って頂き、協力・参加していくきっかけ作りを活

動の柱にしています。また、企業、財団法人から環境PRに関わるツールやグッズのクリエイティブ・デザインを受注し、クリエイター同士でワークシェアリングを行いながら収益を活動費用に充てています。



イラストBYゆずりは さとし

間伐材でワークショップ



今回は「コッパdeアート」に東京都の間伐材を素材として取り入れ、愛・地球博ささしまサテライト会場、アースデイMARUNOUCHI（東京・丸ビル）、東芝本社（東芝港感謝祭会場）で開催しました。自分で丸太を輪切りにしてワークショップの材料にしたり、鍋敷きやコースター、そのままインテリアに使うなど、来場者が自由な発想で作品作りに取り組み、滅多に触れることのない原木の手触り、手応えを楽しんでいました。



ワークショップを楽しみながら、森林保全に必要な間伐などの作業の重要性、国内森林と地球温暖化防止の関連など、地球の森が抱えている問題を伝えることが出来たのも大きな成果だったと思っています。



木っ葉deアート（こっばであーと）
木っ端、材木の端っこのことを木っ端といいます。ちいさな木ざれのことを言うわけですから、木っ端＝廃棄物ではありませんか、ここに用意した物は家具や内装材を作ったときに出る端材、すなわち本来はゴミとして処分されてしまう物達です、廃木を刈り込んだときに出る木の葉や枝もそうです。でも、ひとつひとつ手に取ってみてください。香りを嗅いでみてください。「僕で何かを作って」と木っ端が語りかけてきませんか。皆さんの工夫ひとつで、処分される運命だった木っ端が、枝が、葉っぱが、世界でたったひとつの宝物に生まれ変わります。ごあ、一緒に「木っ葉deアート」しませんか。



すてきでしょ アースデイMARUNOUCHIにて



力作 アースデイMARUNOUCHIにて



おかあさんの作品も素敵です EXPO2005



端から見てると簡単そうなんだけど丸太切り 港感謝祭



WS風景 アースデイ MARUNOUCHIにて



ペンダントです EXPO2005



WS風景 EXPO2005



かっこいい！ アースデイ MARUNOUCHIにて



おじいちゃんをつくりました アースデイ MARUNOUCHIにて



丸太切り 港感謝祭